

安全の手引き(新入生向け)

作成:エンドウ

1、はじめに

新入生のみなさん、NUCCの活動に参加してくれてありがとう。突然ですが、NUCCで使うようなスポーツバイクは道のどこを走るのかご存じですか？答えは、**車道の左側**です。みなさんが普段乗っているようなママチャリとは違い、スポーツバイクは簡単にスピードが出ます。逆に言えば、それだけ危険ということです。もし、反対側から歩道を時速30キロで走ってくる自転車がいたら？歩行者は怖い思いをしますね。しかも、そんなスピードでガタイの良い大学生が歩行者に衝突したら、軽い怪我では済みません。

以上のことから、NUCCの活動では車道を走る、が原則です。歩道を猛スピードで走るようなことは絶対にやめて下さい。

さて、ここからは車道を走るためのルールとみなさんの安全について書いていきます。

2、1列になって走る

普段のNUCCのランでは、4~7人の班を作り、その班で固まって走ることが殆どです。その際に気を付けてほしいことは、**1列になって走ること**です。自転車の並列走行は大変危険であり、れっきとした道交法違反です。

新入生の時期には無いと思いますが、集団での走行に慣れてくると、つい前を走る仲間との話に夢中になり、気が付いたら2列になって走っている、ということがたまにあります。常に1列になって走るように心がけましょう。



3、手信号について

車道を集団で走行していると、様々な場面に遭遇します。例えば、信号での減速、後ろから追い抜いてくる自動車、路上駐車、落下物、アスファルトの穴の回避など、シチュエーションを挙げればキリがありません。また、先頭の人が逐一後ろを向いて進行方向に何があるかということを報告していると、かえって危険です。そこで、集団での走行には**手信号**が用いられます。

手信号とは、先頭の人が後ろを走る人に向かって、腕から先を使って指示を出す手法のことです。この手信号を使うことによって、自分より前を走っている人がどのような動きをするのかを知ることができます。また、先頭から数えて2番目、3番目…の人も、前の人を手信号を出すのを確認したら、自分も後ろの人に向かって手信号を出さなければいけません。これは、最後尾の人まで手信号を伝えるためです。誰かが前から伝わってきた手信号を後ろに伝えないまましていると、後ろの人は前の人動きに対応できません。また、路上駐車の車に気付いていないと、とっさに回避できずに追突してしまいますかもしれません。このように、**手信号は集団で走行するうえで最も重要な役割を持っています。**

手信号の例を載せておきます。新歓ランの前にも確認しますが、一度目を通しておいて下さい。

- ①、②…主に交差点で使う手信号です。左折、右折の合図になります。
- ③、④…主に路上駐車の車や落下物を避ける時に使います。この合図が出されたら、前方に障害物がある可能性が高いです。また、道路の車線が狭くなるときなどにも使われます。

⑤・・・落下物(アルミ缶、砂、石)や、地面に空いた穴、段差があることを示します。この手信号が前から伝わってきた場合には、路面をよく見て走行して下さい。

⑥、⑦・・・主に信号での減速に使われます。大抵の場合、⑦のみが用いられますが、前に遅い車両がいるなどの場合には⑥も使われます。この手信号が出されたら、前方の信号(または車両)をよく見るとともに、前を走っている部員に追突しないよう、適宜ブレーキを使って速度を調節してください。

左折します



右折します



左側に寄ってください



右側に寄ってください



路面に注意



先に行ってください



速度を落としてください



走行を停止します



4、手信号が使えない場合

まず、新入生のみなさんの大半は、手信号を使ったことが無いと思います。ロードバイクなどの前傾姿勢をとる自転車に乗るのも初めてでしょう。手信号を使うには、左右どちらかの手をハンドルから離さなければなりません。スポーツバイクに慣れていない新入生が無理にハンドルから手を離すと、バランスを崩して転んでしまう可能性があります。新歓の時期は手信号を強要することはないので、手信号を使うのは慣れてきてからで構いません。自分の身の安全を第一に考えてください。

また、新歓ランでは無いとは思いますが、日が沈んだ夜間に集団で走ることもあります。もちろんライトは点けていますが、場合によっては前の人の手信号が見えにくい場合もあり、手信号はあまり効力を持ちません。

その他にも、雨で視界が確保できない場合や、下りで手が離せない場面などもあります。

以上の場合には、「声」を使います。前からの手信号を後ろに伝えることが困難な場合には、声を出して後ろの人に指示を伝えなければいけません。例えば、①の場合は「左折しまーす」、④の場合には「右に寄ってー」、⑦の場合には「ストップ！」などの声を出します。ここで注意して欲しいのは、声を出す人の顔は前に向いている

ので、大きな声を出さないと自動車の音などに掻き消されてしまう場合もあるということです。最初のうちは大声を出すのが恥ずかしいと思うかもしれませんが(僕も最初はそうでした)、自分の後ろを走る人の安全を守るためにはとても重要なことです。また、声出しを手信号と併用して使うことで、更に事故のリスクを減らすことができます。事故の無い楽しいランにするためにも、声出しは積極的に使って欲しいです。

5、ヘルメットとグローブ(軍手)

スポーツバイクに乗るときは、当たり前ですがヘルメットを着用して下さい。ヘルメットはもしもの時のために頭部を守ってくれるとても重要な装備です。ダサい、邪魔などの理由でヘルメットを被りたくない人もいますが、ヘルメットを被らない人はNUCCの活動に参加できません(これは上級生も同じです)。これは部員の安全を考えた措置です。また、日常で自転車に乗る場合(通勤、通学など)でもヘルメットの着用を強くお勧めします。

グローブには着用義務はありませんが、転んだ時に手の平を守ってくれます。僕は一度グローブなしで転んだ時がありますが、手の皮が少し剥けてかなり痛かったです。それでも時速 10km 程しか出していないのでしたから、更にスピードが出ていたらと思うとゾッとします…。また、手の平の怪我は日常生活にも影響します。ペンを握りにくくて、かなり不便な思いをしました。

新歓の時期はもちろんヘルメットと軍手を貸し出します。軍手が家にある人がいれば持ってきてもらえると助かります(無理に買ってくる必要はありません)。ヘルメットはいずれ買ってもらうことになるので、もうNUCCに入る気のある新入生は早めに買うのもアリかもしれません。

本格的なグローブもショップに 2000 円程度から売っているので、入部したら買うことをお勧めします(ちなみに手の平の治療費に同じくらいのお金がかかりました。グローブがあればほぼ無傷で済んだし、日常生活に困ることも無かったと思います…)

6、最後に

ここまで長く書いてきましたが、新入生のみなさんにはちょっと堅すぎる文章だったかもしれません。ごめんなさい…。

僕が言いたいことは、まず自分の身を最優先に考えて欲しいということです。折角の大学生活を、怪我を抱えたままスタートしてほしくありません。また、ランの最中に怪我をしてしまったら、楽しいランも台無しになってしまいます。どうせなら、楽しいまま終わりたいですね。

安全あってこそNUCCの活動です。みんなで楽しい自転車ライフを過ごしましょう！！